

平成22年度
決算説明資料



【 目 次 】

I 平成23年3月期決算のダイジェスト	
1. 損益状況	単・・・・・・・・・・・・・1
2. 資産・負債の状況	単・・・・・・・・・・・・・4
3. 不良債権の状況	単・・・・・・・・・・・・・6
II 平成23年3月期決算の概要	
1. 損益状況	単・・・・・・・・・・・・・7
〃	連・・・・・・・・・・・・・8
2. 業務純益	単
3. 利鞘	単・・・・・・・・・・・・・9
4. 有価証券関係損益	単
5. 自己資本比率(国内基準)	単・連・・・・・・・・・・・・・10
6. ROE	単
III 貸出金等の状況	
1. リスク管理債権の状況	単・連・・・・・・・・・・・・・11
2. 貸倒引当金等の状況	単・連・・・・・・・・・・・・・12
3. リスク管理債権に対する引当率	単・連
4. 金融再生法開示債権等	単・・・・・・・・・・・・・13
5. 〃	連・・・・・・・・・・・・・14
部分直接償却を実施した場合の状況	単・・・・・・・・・・・・・15
6. 業種別貸出状況等	一・・・・・・・・・・・・・16
(1) 業種別貸出金	単
(2) 業種別リスク管理債権	単
(3) 業種別金融再生法開示債権	単
(4) 消費者ローン残高	単・・・・・・・・・・・・・17
(5) 中小企業等貸出残高及び貸出比率	単
7. 預金、貸出金の残高	単
8. 役職員数及び店舗数	単
9. 業績等予想	単・・・・・・・・・・・・・18
10. 平成22年度のパルクセール実績と今後の計画	単
11. 平成22年度の債権放棄の金額及び放棄先	単
12. 系列ノンバンク向け融資残高	単
13. 連結子会社、関連ノンバンクの引当不足について	単
14. 自己査定結果について	単
15. 貸出関係	単・・・・・・・・・・・・・19
16. 不良債権について	単・・・・・・・・・・・・・20
(1) 処理損失	単・連
(2) 最終処理と新規発生	単
(3) 金融支援	単
(4) 債務者区分ごとの引当額と引当率	単・・・・・・・・・・・・・21
17. 保有株式について	一
(1) 保有株式	単
(2) 減損処理基準	単
《参考資料》	
当行の地域貢献に関する開示情報(抜粋)	単・・・・・・・・・・・・・22

※本資料に含まれる将来の見通しに関する記述については、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

I.平成23年3月期決算のダイジェスト

1. 損益状況

【単体】

(百万円)

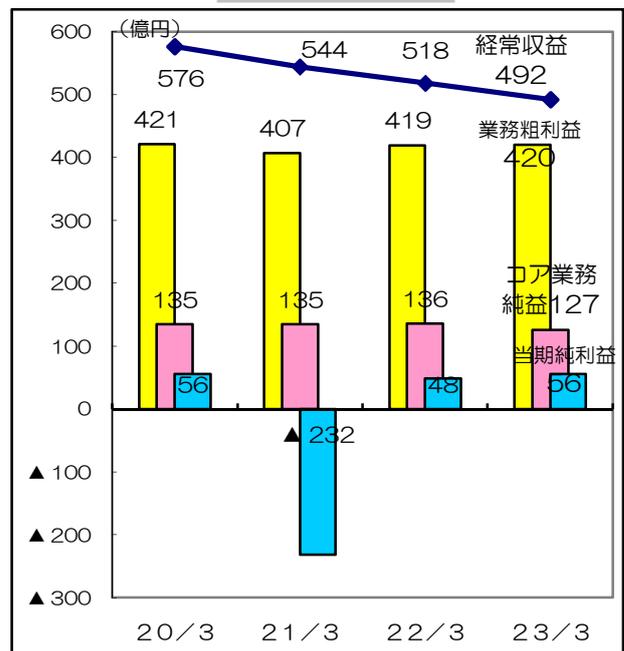
	項番	23年3月期	22年3月期比		22年3月期
			増減率	金額	
経常収益	1	49,248	△ 5.0%	△ 2,570	51,818
業務粗利益	2	42,063		112	41,951
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	3	(42,049)		(△ 182)	(42,231)
資金利益	4	36,622		△ 169	36,791
役務取引等利益	5	5,376		26	5,350
その他業務利益	6	64		254	△ 190
(うち国債等債券損益)	7	(14)		(293)	(△ 279)
経 費 (除く臨時処理分)	8	29,359		742	28,617
業務純益(一般貸倒繰入前)	9	12,704	△ 4.7%	△ 629	13,333
コア業務純益	10	12,690	△ 6.8%	△ 923	13,613
①一般貸倒引当金繰入額	11	—		2,246	△ 2,246
業務純益	12	12,704	△ 18.5%	△ 2,876	15,580
臨時損益	13	△ 2,254		4,300	△ 6,554
②不良債権処理額	14	79		△ 5,293	5,372
③特定海外債権引当勘定繰入	15	—		—	—
(貸倒償却引当費用①+②+③)	16	79		△ 3,046	3,125
株式等関係損益	17	△ 1,199		△ 264	△ 935
その他臨時損益	18	△ 975		△ 728	△ 247
経常利益	19	10,444	15.9%	1,429	9,015
特別損益	20	754		1,625	△ 871
うち貸倒引当金戻入益	21	1,028		1,028	—
うち減損損失	22	104		△ 712	816
うち資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	23	127		127	—
税引前当期純利益	24	11,199	37.5%	3,056	8,143
当期純利益	25	5,649	17.3%	834	4,815

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 業績サマリー

- 経常収益は、貸出金利の減少により、492億円、前期対比26億円の減収となりました。(3期連続の減収)
- 業務純益は、前期にあった一般貸倒引当金の取崩しがなくなったことを主因に、前期対比28億円減少し、127億円となりました。また、コア業務純益も経費の増加により、前期対比9億円減少し、127億円となりました。
- 経常利益は、経常収益の減少を経常費用の減少が上回ったことにより、前期対比14億円増加し、104億円となりました。
- 経常収益は減少したものの、経常利益は増加したため、当期は2期連続の減収増益となりました。
- 当期純利益も、経常利益の増加により、前期対比8億円増加の56億円となりました。

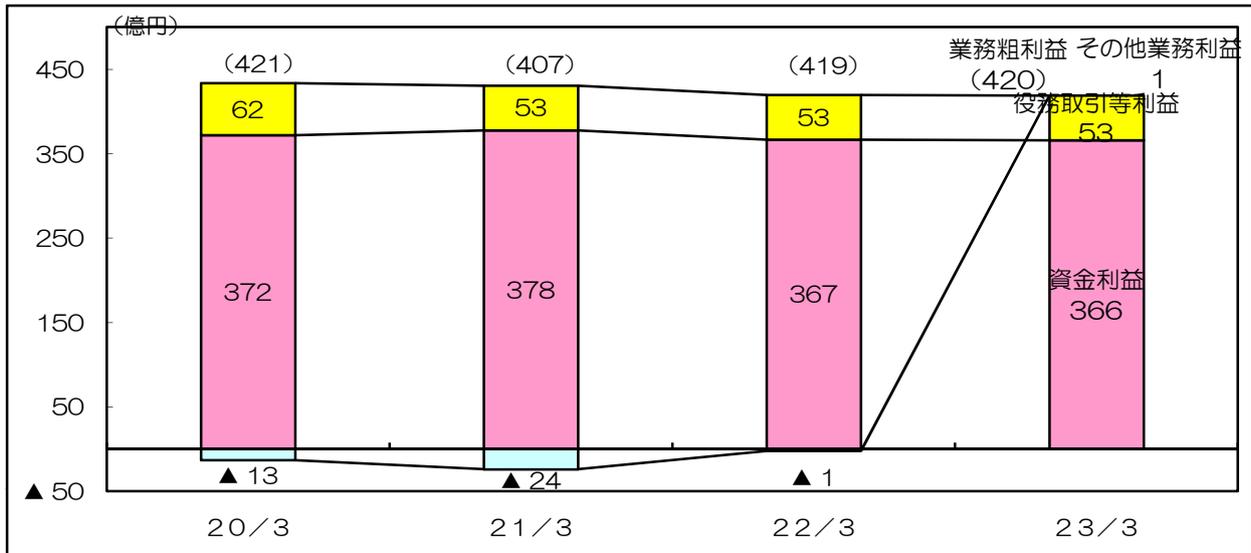
単体諸利益の推移



(2) 業務粗利益

- 資金利益は、貸出金利息の減少を預金等利息の減少でカバーできずに、前期対比1億円減少し、366億円となりました。
- 役務取引等利益は、受入為替手数料の減少により役務取引等収益は減少したものの、役務取引等費用も減少したことから、前期と同水準の53億円となりました。
- その他業務利益は、国債等債券損益の改善により前期対比2億円増加しました。

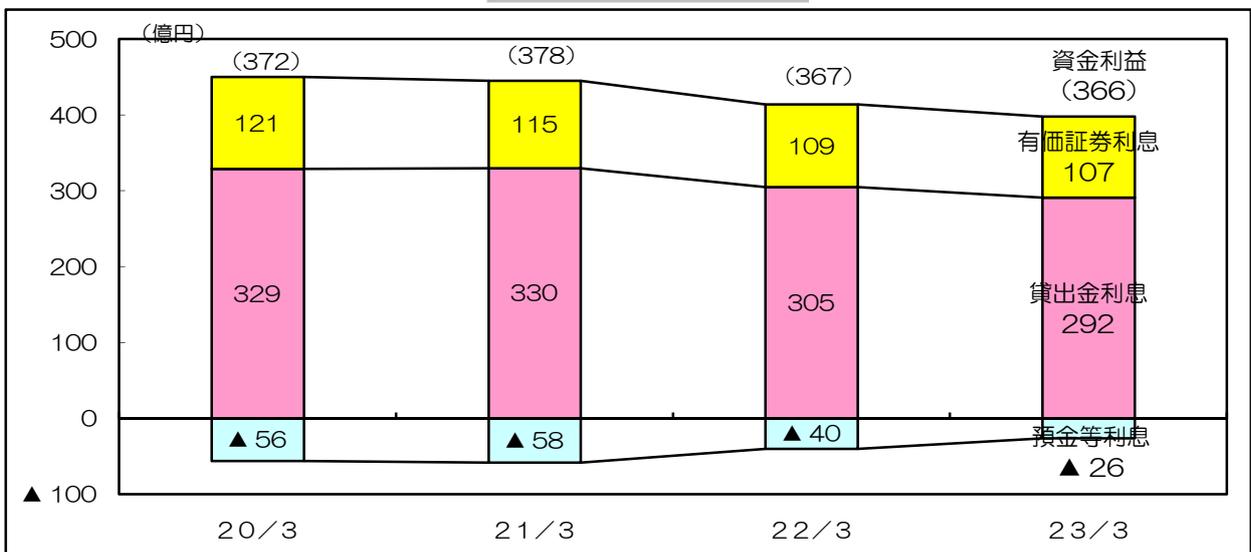
業務粗利益の推移



(3) 資金利益の内訳

- 貸出金利息は、貸出金平残は増加したものの、利回りの低下により、前期対比13億円減少し、292億円となりました。
- 有価証券利息も、有価証券平残は増加したものの、利回りの低下により、前期対比2億円減少し、107億円となりました。
- 預金等利息は、預金等平残は増加したものの、預金等利回りの低下により、前期対比14億円減少し、26億円となりました。

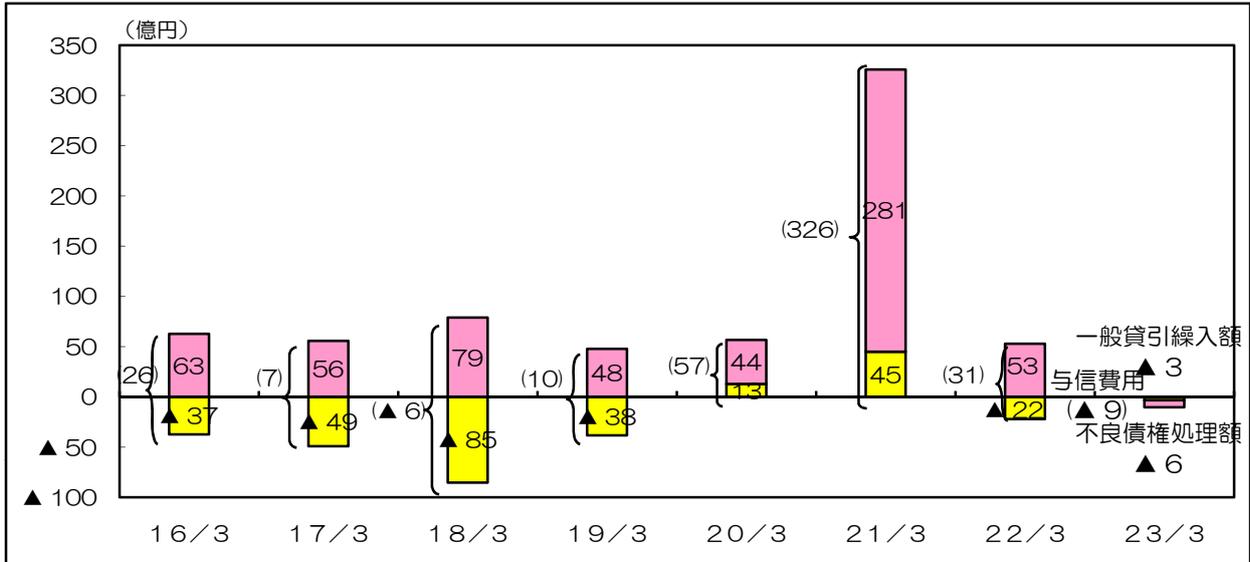
資金利益の内訳推移



(4) 与信費用の状況

- 与信費用は、前期対比40億円減少し、▲9億円となりました。
- 一般貸倒引当金繰入額は、正常先や要注意先の残高の減少により、3億円の取崩となりました。
- 不良債権処理額は、破綻懸念先から要注意先へのランクアップ等による残高の減少により、6億円の取崩となりました。
- なお、当期は一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額がマイナスとなったため、貸倒引当金戻入益を特別利益に計上しています。

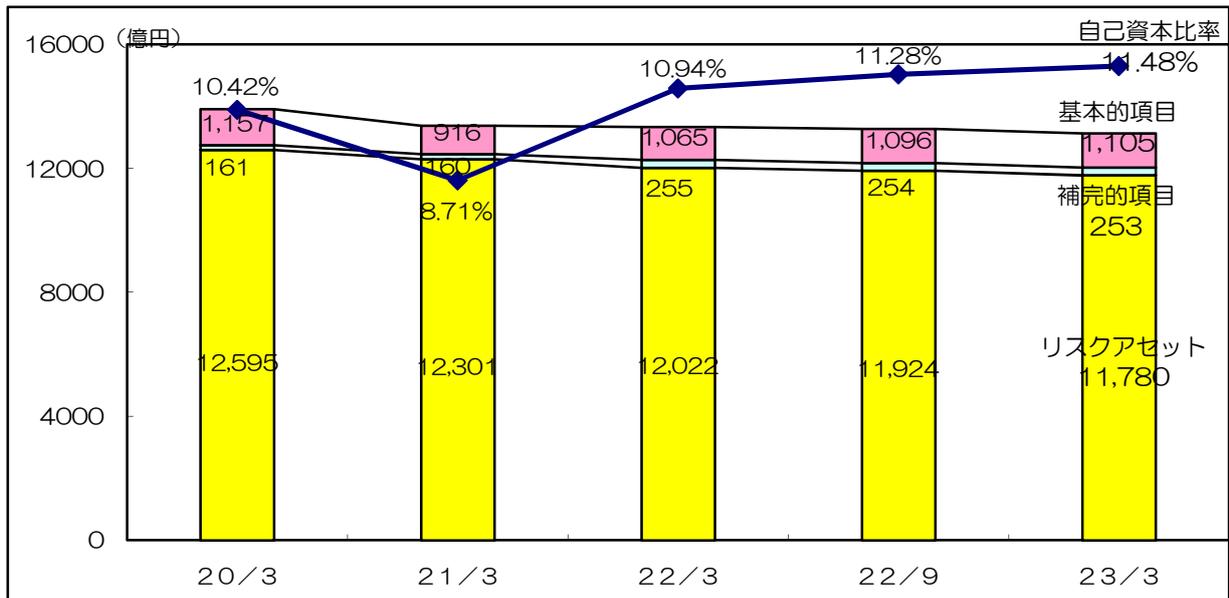
与信費用（一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額）



(5) 自己資本比率（国内基準）

- 自己資本比率は、22年3月末対比0.54%上昇して11.48%となりました。国内基準の最低ラインである4%を大幅に上回っています。
- 自己資本比率が上昇した要因は、当期純利益の計上とリスクアセットの減少によるものです。

自己資本比率（単体）推移



2. 資産・負債の状況

(1) 貸出金の状況【単体】

- 貸出金末残は、公共向け貸出の増加により前期対比199億円増加し、16,863億円(増加率1.2%)となりました。
- 貸出金平残は、公共向けの貸出や個人ローンの増加が平残の増加に寄与したことから順調に推移し、前期対比256億円増加し、16,893億円(増加率1.5%)となりました。
- 個人ローンは、住宅ローン残高は増加しましたが、その他ローンが大きく減少したため、前期対比3億円減少し、4,191億円となりました。
- 中小企業等貸出比率は、県内の事業性貸出金の増強を目標に掲げ、取組んでまいりましたが、前期対比1.64%低下し、59.96%となりました。

<貸出金末残>

(単位：億円)

	23年3月末				22年9月末	22年3月末	
	22年9月末比		22年3月末比				
	増減率	増減額	増減率	増減額			
総貸出金	16,863	△0.5%	△92	1.2%	199	16,955	16,664
一般(除く外貨)	13,444	△0.6%	△85	△0.4%	△50	13,529	13,494
事業性貸出	9,253	△0.8%	△71	△0.5%	△47	9,324	9,300
個人ローン	4,191	△0.3%	△14	△0.1%	△3	4,205	4,194
公共向け	3,413	△0.2%	△6	8.0%	253	3,419	3,160
外貨	6	△10.4%	△1	△35.0%	△4	7	10

大分県内向け貸出金	12,612	△0.5%	△63	△0.2%	△27	12,675	12,639
-----------	--------	-------	-----	-------	-----	--------	--------

<個人ローン末残>

(単位：億円)

	23年3月末				22年9月末	22年3月末	
	22年9月末比		22年3月末比				
	増減率	増減額	増減率	増減額			
個人ローン残高	4,191	△0.3%	△14	△0.1%	△3	4,205	4,194
うち住宅ローン	3,812	0.0%	2	0.8%	29	3,810	3,783
うちその他ローン	379	△4.0%	△16	△7.7%	△32	395	411

<中小企業向け貸出残高(末残)・比率>

(単位：億円)

	23年3月末				22年9月末	22年3月末	
	22年9月末比		22年3月末比				
	増減率	増減額	増減率	増減額			
中小企業等貸出残高	10,110	△1.6%	△166	△1.5%	△155	10,276	10,265
中小企業等貸出比率	59.96%		△0.65%		△1.64%	60.61%	61.60%

<貸出金平均残高>

(単位：億円)

	23年3月末				22年9月末	22年3月末	
	22年9月末比		22年3月末比				
	増減率	増減額	増減率	増減額			
総貸出金	16,893	0.2%	30	1.5%	256	16,863	16,637
一般(除く外貨)	13,450	△0.3%	△48	△1.6%	△219	13,498	13,669
事業性貸出	9,266	△0.5%	△50	△2.8%	△269	9,316	9,535
個人ローン	4,184	0.1%	2	1.2%	50	4,182	4,134
公共向け	3,435	2.4%	79	16.2%	479	3,356	2,956
外貨	8	△14.1%	△1	△34.7%	△4	9	12

(2) 有価証券の状況【単体】

- 有価証券は、積極的に投資を進めたことから、前期対比292億円増加し、8,524億円となりました。
- その他有価証券評価差額は、株式相場下落により、22/3末比59億円減少しましたが、126億円の評価益となりました。

(単位：億円)

	23年3月末				22年9月末 評価差額	22年3月末 評価差額
	時価	評価差額				
			22/9末比	22/3末比		
その他有価証券	8,475	126	△ 50	△ 59	176	185
株式	377	53	21	△ 44	32	97
債券	6,330	80	△ 53	△ 10	133	90
国債	2,843	17	△ 15	△ 3	32	20
地方債	1,261	32	△ 17	△ 3	49	35
社債	2,226	31	△ 21	△ 4	52	35
その他	1,768	△ 7	△ 18	△ 5	11	△ 2

(3) 預金の状況【単体】

- 預金末残は、前期対比325億円増加し、23,792億円（増加率1.4%）となりました。
- 譲渡性預金を加えた、預金等でも前期対比229億円増加し、24,918億円となりました。
- 預金等平残も、個人預金と法人預金の増加により順調に推移し、前期対比715億円増加し、25,089億円（増加率2.9%）となりました。

<預金末残>

(単位：億円)

	23年3月末				22年9月末	22年3月末	
		22年9月末比		22年3月末比			
		増減率	増減額	増減率			増減額
総預金	23,792	1.2%	281	1.4%	325	23,511	23,467
うち個人預金	16,525	1.6%	266	2.2%	354	16,259	16,171
うち流動性	8,856	3.4%	295	4.1%	351	8,561	8,505
うち定期性	7,589	△ 0.4%	△ 33	△ 0.1%	△ 4	7,622	7,593
うち法人預金	5,289	△ 2.0%	△ 107	△ 0.2%	△ 12	5,396	5,301
うち流動性	3,802	△ 1.0%	△ 37	3.2%	119	3,839	3,683
うち定期性	1,461	△ 4.7%	△ 72	△ 8.3%	△ 133	1,533	1,594

(注) 1. 流動性預金＝当座預金＋普通預金＋貯蓄預金＋通知預金

2. 定期性預金＝定期預金＋定期積金

預金等(預金+NCD)	24,918	△ 0.1%	△ 18	0.9%	229	24,936	24,689
-------------	--------	--------	------	------	-----	--------	--------

<預金平均残高>

(単位：億円)

	23年3月末				22年9月末	22年3月末	
		22年9月末比		22年3月末比			
		増減率	増減額	増減率			増減額
総預金	23,425	△ 0.4%	△ 102	2.4%	543	23,527	22,882
うち個人預金	16,436	0.5%	74	2.0%	318	16,362	16,118
うち流動性	8,742	0.8%	73	3.4%	287	8,669	8,455
うち定期性	7,619	△ 0.0%	△ 2	0.3%	23	7,621	7,596
うち法人預金	5,162	△ 1.1%	△ 57	1.2%	60	5,219	5,102
うち流動性	3,597	△ 1.2%	△ 42	3.7%	129	3,639	3,468
うち定期性	1,541	△ 0.9%	△ 15	△ 4.1%	△ 67	1,556	1,608

(注) 1. 流動性預金＝当座預金＋普通預金＋貯蓄預金＋通知預金

2. 定期性預金＝定期預金＋定期積金

預金等(預金+NCD)	25,089	△ 0.6%	△ 140	2.9%	715	25,229	24,374
-------------	--------	--------	-------	------	-----	--------	--------

3. 不良債権の状況【単体】

- リスク管理債権は、22/9末比143億円増加し、920億円、貸出金残高比も0.87%上昇し、5.45%となりました。22/3末比では、142億円増加し、0.78%上昇しました。
- 金融再生法開示債権残高は、22/9末比140億円増加し967億円、総与信に占める割合(不良債権比率)も0.83%上昇し、5.60%となりました。22/3末比では、135億円増加し、不良債権比率は、0.72%上昇しました。

(1) リスク管理債権

(単位:億円)

	23年3月末		22年9月末	22年3月末
	22/9末比	22/3末比		
破綻先債権	55	8	47	49
延滞債権	719	30	689	685
3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	146	105	41	44
合計	920	143	777	778

貸出金残高比	23年3月末		22年9月末	22年3月末
	22/9末比	22/3末比		
破綻先債権	0.32	0.05	0.27	0.29
延滞債権	4.26	0.20	4.06	4.10
3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	0.86	0.62	0.24	0.26
合計	5.45	0.87	4.58	4.67

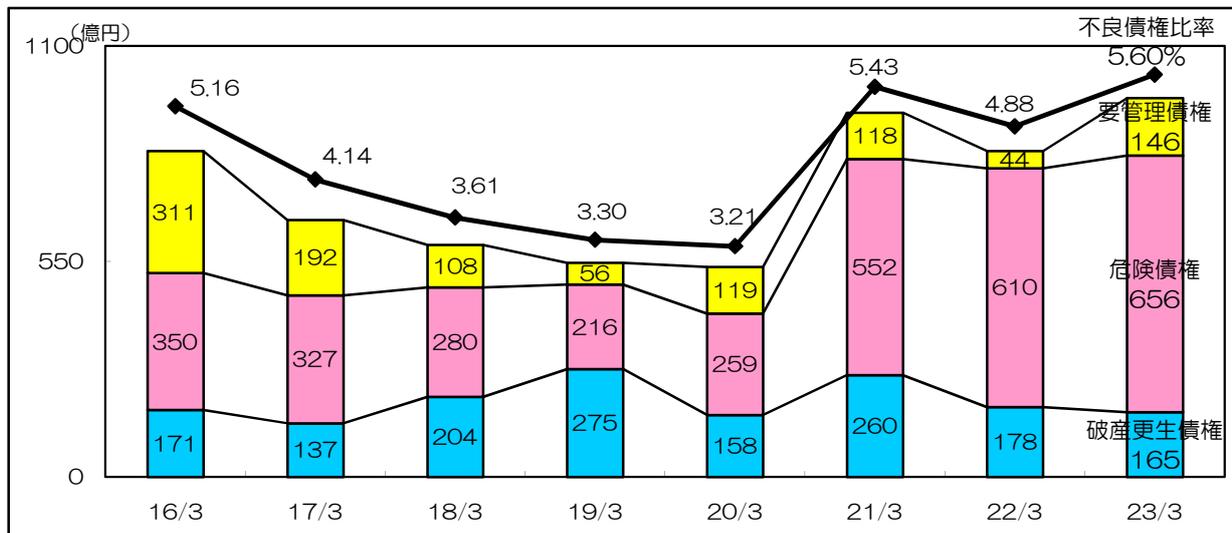
(2) 金融再生法開示債権

(単位:億円)

	23年3月末		22年9月末	22年3月末
	22/9末比	22/3末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	165	△17	182	178
危険債権	656	52	604	610
要管理債権	146	105	41	44
小計	967	140	827	832
正常債権	16,271	△229	16,500	16,196
合計	17,238	△89	17,327	17,028

総与信残高比	23年3月末		22年9月末	22年3月末
	22/9末比	22/3末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.95	△0.09	1.04	1.04
危険債権	3.80	0.32	3.48	3.58
要管理債権	0.84	0.61	0.23	0.25
合計	5.60	0.83	4.77	4.88

金融再生法開示債権残高と不良債権比率



II 平成23年3月期決算の概要

1. 損益状況

【単体】

(百万円)

		平成23年3月期	平成22年3月期比		平成22年3月期
			増減率	金額	
業 務 粗 利 益	1	42,063		112	41,951
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	2	(42,049)		(△ 182)	(42,231)
国 内 業 務 粗 利 益	3	38,848		175	38,673
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	4	(38,831)		(△ 87)	(38,918)
資 金 利 益	5	33,532		△ 94	33,626
役 務 取 引 等 利 益	6	5,286		14	5,272
そ の 他 業 務 利 益	7	28		253	△ 225
(うち国債等債券損益)	8	(16)		(260)	(△ 244)
国 際 業 務 粗 利 益	9	3,215		△ 63	3,278
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	10	(3,218)		(△ 95)	(3,313)
資 金 利 益	11	3,089		△ 75	3,164
役 務 取 引 等 利 益	12	89		11	78
そ の 他 業 務 利 益	13	35		0	35
(うち国債等債券損益)	14	(△ 2)		(32)	(△ 34)
経 費 (除く臨時処理分)	15	29,359		742	28,617
人 件 費	16	14,561		1,173	13,388
物 件 費	17	13,422		△ 403	13,825
税 金	18	1,375		△ 28	1,403
業 務 純 益 (一般貸倒繰入前)	19	12,704	△ 4.7	△ 629	13,333
除く国債等債券損益(5勘定戻)	20	12,690	△ 6.8	△ 923	13,613
① 一般貸倒引当金繰入額	21	—		2,246	△ 2,246
業 務 純 益	22	12,704	△ 18.5	△ 2,876	15,580
うち国債等債券損益(5勘定戻)	23	14		293	△ 279
臨 時 損 益	24	△ 2,254		4,300	△ 6,554
② 不良債権処理額	25	79		△ 5,293	5,372
貸 出 金 償 却	26	0		△ 1	1
個別貸倒引当金繰入額	27	—		△ 5,396	5,396
共同債権買取機構売却損	28	—		—	—
延滞債権等売却損	29	23		△ 4	27
債権売却損失引当金繰入額	30	—		—	—
そ の 他	31	55		108	△ 53
③ 特定海外債権引当勘定繰入	32	—		—	—
(貸倒償却引当費用①+②+③)	33	79		△ 3,046	3,125
株 式 等 関 係 損 益	34	△ 1,199		△ 264	△ 935
株 式 等 売 却 益	35	257		△ 65	322
株 式 等 売 却 損	36	1,096		615	481
株 式 等 償 却	37	361		△ 415	776
そ の 他 臨 時 損 益	38	△ 975		△ 728	△ 247
経 常 利 益	39	10,444	15.9	1,429	9,015
特 別 損 益	40	754		1,625	△ 871
うち固定資産処分損益	41	△ 99		△ 42	△ 57
うち貸倒引当金戻入益	42	1,028		1,028	—
うち減損損失	43	104		△ 712	816
うち資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44	127		127	—
税 引 前 当 期 純 利 益	45	11,199	37.5	3,056	8,143
法人税、住民税及び事業税	46	3,490		76	3,414
法人税等調整額	47	2,058		2,144	△ 86
法人税等合計	48	5,549		2,221	3,328
当 期 純 利 益	49	5,649	17.3	834	4,815
(ご参考)					
与 信 費 用	50	△ 948		△ 4,073	3,125

(注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 貸倒引当金戻入益の内訳：一般貸倒引当金繰入額△302百万円、個別貸倒引当金繰入額△726百万円

3. 不良債権処理額の「その他」は、信用保証協会の責任共有制度に係る引当金繰入額を計上しております。

【連結】

<連結損益計算書ベース>

(百万円)

		平成23年3月期		平成22年3月期
			平成22年3月期比	
連結粗利益	1	44,973	207	44,766
資金利益	2	37,250	△193	37,443
役員取引等利益	3	6,203	59	6,144
その他業務利益	4	1,519	341	1,178
営業経費	5	31,620	673	30,947
貸倒償却引当費用	6	116	△2,919	3,035
貸出金償却	7	37	△8	45
個別貸倒引当金繰入額	8	—	△5,363	5,363
延滞債権等売却損	9	23	△4	27
一般貸倒引当金繰入額	10	—	2,348	△2,348
その他	11	55	108	△53
株式等関係損益	12	△1,209	△250	△959
持分法による投資損益	13	—	—	—
その他	14	△10	△817	807
経常利益	15	12,016	1,385	10,631
特別損益	16	780	1,651	△871
税金等調整前当期純利益	17	12,796	3,036	9,760
法人税、住民税及び事業税	18	4,141	238	3,903
法人税等調整額	19	2,058	1,953	105
法人税等合計	20	6,199	2,191	4,008
少数株主損益調整前当期純利益	21	6,597	846	5,751
少数株主利益	22	583	11	572
当期純利益	23	6,013	834	5,179

(注) 1. 連結粗利益=(資金運用収益-資金運用費用)+(役員取引等収益-役員取引等費用)

+ (その他業務収益-その他業務費用)

2. 貸倒償却引当費用の「その他」は、信用保証協会の責任共有制度に係る引当金取崩額を計上しております。

(参考)

(百万円)

連結業務純益	24	13,641	△2,970	16,611
--------	----	--------	--------	--------

(注) 連結業務純益=単体業務純益+子会社経常利益-内部取引(配当等)

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	9	—	9
持分法適用会社数	—	—	—

2. 業務純益【単体】

(百万円)

		平成23年3月期		平成22年3月期
			平成22年3月期比	
(1) 業務純益(一般貸倒繰入前)		12,704	△629	13,333
職員一人当たり(千円)		7,580	△462	8,042
(2) 業務純益		12,704	△2,876	15,580
職員一人当たり(千円)		7,580	△1,816	9,396

3. 利鞘 (全店) 【単体】

(%)

	平成23年3月期		平成22年3月期
		平成22年3月期比	
(1) 資金運用利回 (A)	1.52	△ 0.10	1.62
(イ) 貸出金利回	1.72	△ 0.11	1.83
(ロ) 有価証券利回	1.30	△ 0.10	1.40
(2) 資金調達原価 (B)	1.29	△ 0.06	1.35
(イ) 預金等利回	0.10	△ 0.06	0.16
(ロ) 外部負債利回	1.01	0.17	0.84
(3) 総資金利鞘 (A) - (B)	0.23	△ 0.04	0.27

(注)外部負債利回は、コールマネー及び借入金の合算利回であります。

利鞘 (国内) 【単体】

(%)

	平成23年3月期		平成22年3月期
		平成22年3月期比	
(1) 資金運用利回 (A)	1.41	△ 0.10	1.51
(イ) 貸出金利回	1.72	△ 0.10	1.82
(ロ) 有価証券利回	1.19	△ 0.03	1.22
(2) 資金調達原価 (B)	1.27	△ 0.07	1.34
(イ) 預金等利回	0.10	△ 0.06	0.16
(ロ) 外部負債利回	1.50	0.39	1.11
(3) 総資金利鞘 (A) - (B)	0.14	△ 0.03	0.17

(注)外部負債利回は、コールマネー及び借入金の合算利回であります。

4. 有価証券関係損益

【単体】

(百万円)

	平成23年3月期		平成22年3月期
		平成22年3月期比	
国債等債券損益 (5勘定戻)	14	293	△ 279
売却益	146	121	25
償還益	—	—	—
売却損	53	△ 252	305
償還損	79	79	—
償却	—	—	—
株式等損益 (3勘定戻)	△ 1,199	△ 264	△ 935
売却益	257	△ 65	322
売却損	1,096	615	481
償却	361	△ 415	776

5. 自己資本比率(国内基準)

【単体】

(百万円)

	23年3月末 [速報値]			22年9月末	22年3月末
		22年9月末比	22年3月末比		
(1) 自己資本比率	11.48%	0.20%	0.54%	11.28%	10.94%
(Tier I比率)	9.38%	0.19%	0.52%	9.19%	8.86%
(2) Tier I	110,532	868	3,990	109,664	106,542
(3) Tier II	25,327	△ 130	△ 211	25,457	25,538
(イ) うち自己資本に計上され た有価証券含み益	—	—	—	—	—
(ロ) うち自己資本に計上され た土地再評価差額金	7,964	△ 40	△ 61	8,004	8,025
(ハ) うち劣後ローン(債券)残高	10,000	—	—	10,000	10,000
(4) 控除項目	500	△ 5	△ 51	505	551
(他の金融機関の資本調達手段 の意図的な保有相当額)	500	—	—	500	500
(5) 自己資本(2)+(3)-(4)	135,359	743	3,830	134,616	131,529
(6) リスクアセット	1,178,084	△ 14,313	△ 24,106	1,192,397	1,202,190

【連結】

(百万円)

	23年3月末 [速報値]			22年9月末	22年3月末
		22年9月末比	22年3月末比		
(1) 自己資本比率	12.15%	0.29%	0.66%	11.86%	11.49%
(Tier I比率)	10.15%	0.24%	0.62%	9.91%	9.53%
(2) Tier I	121,566	1,352	4,971	120,214	116,595
(3) Tier II	25,448	△ 134	△ 218	25,582	25,666
(イ) うち自己資本に計上され た有価証券含み益	—	—	—	—	—
(ロ) うち自己資本に計上され た土地再評価差額金	7,964	△ 40	△ 61	8,004	8,025
(ハ) うち劣後ローン(債券)残高	10,000	—	—	10,000	10,000
(4) 控除項目	1,437	△ 480	△ 271	1,917	1,708
(他の金融機関の資本調達手段 の意図的な保有相当額)	500	—	—	500	500
(告示第31条第1項第2号に規定する連結 の範囲に含まれないものに対する投資に 相当する額)	937	△ 475	△ 188	1,412	1,125
(5) 自己資本(2)+(3)-(4)	145,577	1,699	5,024	143,878	140,553
(6) リスクアセット	1,197,473	△ 14,907	△ 25,097	1,212,380	1,222,570

6. ROE【単体】

(%)

	平成23年3月期		平成22年3月期
		平成22年3月期比	
業務純益ベース	9.94	△ 3.83	13.77
当期純利益(純損失)ベース	4.42	0.17	4.25

(算式)

業務純益(当期純利益) / (期首純資産+期末純資産) ÷ 2

Ⅲ 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況

部分直接償却実施(前・後)

未収利息不計上基準(破綻懸念先以下は不計上)

【単体】

(百万円)

		23年3月末		22年9月末	22年3月末	
		22年9月末比	22年3月末比			
リスク管理債権	破綻先債権	5,516	773	576	4,743	4,940
	延滞債権	71,943	3,049	3,459	68,894	68,484
	3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	14,614	10,485	10,191	4,129	4,423
	合計	92,073	14,306	14,226	77,767	77,847

貸出金残高(未残)	1,686,388	△ 9,145	19,956	1,695,533	1,666,432
-----------	-----------	---------	--------	-----------	-----------

(%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.32	0.05	0.03	0.27	0.29
	延滞債権	4.26	0.20	0.16	4.06	4.10
	3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.86	0.62	0.60	0.24	0.26
	合計	5.45	0.87	0.78	4.58	4.67

【連結】

(百万円)

		23年3月末		22年9月末	22年3月末	
		22年9月末比	22年3月末比			
リスク管理債権	破綻先債権	5,925	510	394	5,415	5,531
	延滞債権	72,924	2,898	2,867	70,026	70,057
	3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	14,878	10,267	9,904	4,611	4,974
	合計	93,728	13,675	13,164	80,053	80,564

貸出金残高(未残)	1,710,229	△ 9,972	18,138	1,720,201	1,692,091
-----------	-----------	---------	--------	-----------	-----------

(%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.34	0.03	0.02	0.31	0.32
	延滞債権	4.26	0.19	0.12	4.07	4.14
	3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.86	0.60	0.57	0.26	0.29
	合計	5.48	0.83	0.72	4.65	4.76

2. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(百万円)

	23年3月末		22年9月末 22年3月末比	22年9月末	22年3月末
貸倒引当金	47,904	△ 1,125	△ 2,092	49,029	49,996
一般貸倒引当金	9,708	△ 498	△ 302	10,206	10,010
個別貸倒引当金	38,195	△ 627	△ 1,790	38,822	39,985
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

特定債務者支援引当金	—	—	—	—	—
------------	---	---	---	---	---

債権売却損失引当金	—	—	—	—	—
-----------	---	---	---	---	---

【連結】

(百万円)

	23年3月末		22年9月末 22年3月末比	22年9月末	22年3月末
貸倒引当金	49,711	△ 1,451	△ 2,328	51,162	52,039
一般貸倒引当金	9,931	△ 537	△ 411	10,468	10,342
個別貸倒引当金	39,780	△ 914	△ 1,916	40,694	41,696
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

債権売却損失引当金	—	—	—	—	—
-----------	---	---	---	---	---

3. リスク管理債権に対する引当率

【単体】

(%)

	23年3月末		22年9月末 22年3月末比	22年9月末	22年3月末
部分直接償却前	52.02	△ 11.02	△ 12.20	63.04	64.22
部分直接償却後					

【連結】

(%)

	23年3月末		22年9月末 22年3月末比	22年9月末	22年3月末
部分直接償却前	53.03	△ 10.88	△ 11.56	63.91	64.59
部分直接償却後					

4. 金融再生法開示債権等

【単体】

(百万円)

	23年3月末		22年9月末	22年3月末
		22年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	16,512	△ 1,673	△ 1,279	17,791
危険債権	65,563	5,136	4,572	60,991
要管理債権	14,614	10,485	10,191	4,423
小計 (A)	96,690	13,949	13,484	83,206
正常債権	1,627,196	△ 22,763	7,542	1,619,654
合計	1,723,886	△ 8,815	21,025	1,702,861

(%)

総 与 信 残 高 比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.95	△ 0.09	△ 0.09	1.04	1.04
	危険債権	3.80	0.32	0.22	3.48	3.58
	要管理債権	0.84	0.61	0.59	0.23	0.25
	合計	5.60	0.83	0.72	4.77	4.88

○金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(百万円)

	23年3月末		22年9月末	22年3月末
		22年9月末比		
保全額 (B)	87,384	12,305	12,248	75,136
貸倒引当金	40,490	875	△ 182	40,672
特定債務者引当金	—	—	—	—
担保保証等	46,893	11,429	12,429	34,464

(%)

保全率 (B) / (A)	90.3	△ 0.4	0.0	90.7	90.3
---------------	------	-------	-----	------	------

○自己査定に基づく個別貸倒引当金引当状況 (総与信ベース)

【単体】

(百万円)

	貸出金等の残高 A	担保等の保全額 B	回収が懸念される額 C (A-B)	個別貸倒引当金 D	引当率 (D/C)
破綻懸念先	65,563	33,626	31,937	26,312	82.3%
実質破綻先	10,893	4,240	6,652	6,652	100.0%
破綻先	5,619	388	5,230	5,230	100.0%
合計	82,076	38,255	43,820	38,195	87.1%

○金融再生法に基づく開示債権の保全・引当情報

【単体】

(百万円)

	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
債権残高 A	16,512	65,563	14,614	96,690
担保等による保全額 B	4,629	33,626	8,638	46,893
貸倒引当金 C	11,883	26,312	2,294	40,490
保全引当率 D = (B+C) / A	100.0%	91.4%	74.8%	90.3%

5. 金融再生法開示債権等

【連結】

(百万円)

	23年3月末		22年9月末	22年3月末
		22年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	17,856	△ 2,107	△ 1,785	19,963
危険債権	67,584	5,732	5,114	61,852
要管理債権	14,878	10,267	9,904	4,611
小計 (A)	100,319	13,892	13,234	86,427
正常債権	1,647,422	△ 23,539	5,972	1,670,961
合計	1,747,741	△ 9,648	19,205	1,757,389

(%)

総 与 信 残 高 比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1.02	△ 0.11	△ 0.11	1.13	1.13
	危険債権	3.86	0.35	0.25	3.51	3.61
	要管理債権	0.85	0.59	0.57	0.26	0.28
	合計	5.73	0.82	0.70	4.91	5.03

○金融再生法開示債権の保全状況

【連結】

(百万円)

	23年3月末		22年9月末	22年3月末
		22年9月末比		
保全額 (B)	89,142	11,959	11,939	77,183
貸倒引当金	42,102	581	△ 332	41,521
特定債務者引当金	—	—	—	—
担保保証等	47,039	11,378	12,271	35,661

(%)

保全率 (B) / (A)	88.8	△ 0.5	0.2	89.3	88.6
---------------	------	-------	-----	------	------

○自己査定に基づく個別貸倒引当金引当状況 (総与信ベース)

【連結】

(百万円)

	貸出金等の残高 A	担保等の保全額 B	回収が懸念される額 C (A-B)	個別貸倒引当金 D	引当率 (D/C)
破綻懸念先	67,584	33,663	33,920	26,661	78.5%
実質破綻先	11,817	4,316	7,500	7,500	100.0%
破綻先	6,039	421	5,617	5,617	100.0%
合計	85,441	38,401	47,039	39,780	84.5%

○金融再生法に基づく開示債権の保全・引当情報

【連結】

(百万円)

	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
債権残高 A	17,856	67,584	14,878	100,319
担保等による保全額 B	4,737	33,663	8,638	47,039
貸倒引当金 C	13,118	26,661	2,322	42,102
保全引当率 D = (B+C) / A	100.0%	89.2%	73.6%	88.8%

部分直接償却を実施した場合の状況

《部分直接償却》

自己査定により回収不能又は無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額（IV分類金額）を取立不能見込額として債権額から直接減額すること。

当行は「部分直接償却」を行っていないためIV分類金額と同額の貸倒引当金を計上しております。

リスク管理債権

【単体】

(百万円)

		23年3月末		22年9月末	22年3月末	
			22年9月末比			22年3月末比
リスク管理債権	破綻先債権	380	△ 304	△ 721	684	1,101
	延滞債権	66,543	4,473	4,010	62,070	62,533
	3ヶ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	14,614	10,485	10,191	4,129	4,423
	合計	81,538	14,654	13,480	66,884	68,058

部分直接償却額	10,535	△ 348	746	10,883	9,789
---------	--------	-------	-----	--------	-------

貸出金残高(末残)	1,675,852	△ 8,797	19,210	1,684,649	1,656,642
-----------	-----------	---------	--------	-----------	-----------

貸出金残高比		23年3月末		22年9月末	22年3月末	
			22年9月末比			22年3月末比
貸出金残高比	破綻先債権	0.02	△ 0.02	△ 0.04	0.04	0.06
	延滞債権	3.97	0.29	0.20	3.68	3.77
	3ヶ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.87	0.63	0.61	0.24	0.26
	合計	4.86	0.89	0.76	3.97	4.10

金融再生法開示債権

【単体】

(百万円)

		23年3月末		22年9月末	22年3月末
			22年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,934	△ 1,249	△ 1,973	7,183	7,907
危険債権	65,563	5,136	4,572	60,427	60,991
要管理債権	14,614	10,485	10,191	4,129	4,423
小計	86,112	14,373	12,791	71,739	73,321
正常債権	1,627,196	△ 22,763	7,542	1,649,959	1,619,654
合計	1,713,308	△ 8,391	20,332	1,721,699	1,692,976

部分直接償却額	10,578	△ 424	694	11,002	9,884
---------	--------	-------	-----	--------	-------

総与信残高比		23年3月末		22年9月末	22年3月末	
			22年9月末比			22年3月末比
総与信残高比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.34	△ 0.07	△ 0.12	0.41	0.46
	危険債権	3.82	0.32	0.22	3.50	3.60
	要管理債権	0.85	0.62	0.59	0.23	0.26
	合計	5.02	0.86	0.69	4.16	4.33

6. 業種別貸出状況等

(1) 業種別貸出金 【単体】

(百万円)

	23年3月末		22年9月末	22年3月末
		22年9月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	1,686,388	△ 9,145	19,956	1,666,432
製造業	163,664	△ 8,294	△ 10,396	171,958
農業・林業	1,693	△ 89	△ 128	1,782
漁業	6,039	239	432	5,800
鉱業・採石業・砂利採取業	4,256	△ 590	△ 1,061	4,846
建設業	39,926	2,579	△ 81	37,347
電気・ガス・熱供給・水道業	18,931	95	3,647	18,836
情報通信業	7,971	988	25	6,983
運輸業・郵便業	46,547	2,995	△ 677	43,552
卸売業・小売業	176,872	△ 7,784	△ 11,541	184,656
金融業・保険業	71,074	△ 11,783	△ 5,719	82,857
不動産業・物品賃貸業	189,523	△ 6,164	△ 9,709	195,687
各種サービス業	202,540	20,233	22,955	182,307
地方公共団体	332,902	3,025	29,032	329,877
その他	424,450	△ 4,595	3,177	429,045

(2) 業種別リスク管理債権 【単体】

(百万円)

	23年3月末		22年9月末	22年3月末
		22年9月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	92,073	14,306	14,226	77,767
製造業	8,798	△ 13	596	8,811
農業・林業	47	44	44	3
漁業	897	244	160	653
鉱業・採石業・砂利採取業	189	—	84	189
建設業	6,484	1,614	2,436	4,870
電気・ガス・熱供給・水道業	232	0	232	—
情報通信業	27	2	0	25
運輸業・郵便業	4,258	2,057	2,093	2,201
卸売業・小売業	32,613	1,348	644	31,265
金融業・保険業	268	△ 26	△ 92	294
不動産業・物品賃貸業	8,086	△ 73	△ 529	8,159
各種サービス業	18,812	1,028	372	17,784
地方公共団体	—	—	—	—
その他	11,357	8,083	8,187	3,274

(3) 業種別金融再生法開示債権 【単体】

(百万円)

	23年3月末		22年9月末	22年3月末
		22年9月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	96,690	13,949	13,484	82,741
製造業	8,881	△ 325	270	9,206
農業・林業	47	44	44	3
漁業	897	244	160	653
鉱業・採石業・砂利採取業	189	—	84	189
建設業	6,492	1,615	2,426	4,877
電気・ガス・熱供給・水道業	232	0	232	—
情報通信業	27	2	0	25
運輸業・郵便業	4,258	2,057	2,093	2,201
卸売業・小売業	33,942	1,350	619	32,592
金融業・保険業	3,363	△ 26	△ 422	3,389
不動産業・物品賃貸業	8,086	△ 73	△ 529	8,159
各種サービス業	18,889	1,026	368	17,863
地方公共団体	—	—	—	—
その他	11,381	8,037	8,141	3,344

(4) 消費者ローン残高 【単体】

(百万円)

	23年3月末		22年9月末	22年3月末	
		22年9月末比			22年3月末比
消費者ローン残高	419,160	△ 1,425	△ 251	420,585	419,411
うち住宅ローン残高	381,195	155	2,922	381,040	378,273
うちその他ローン残高	37,965	△ 1,580	△ 3,173	39,545	41,138

(5) 中小企業等貸出残高及び貸出比率 【単体】

(百万円、%)

	23年3月末		22年9月末	22年3月末	
		22年9月末比			22年3月末比
中小企業等貸出残高	1,011,084	△ 16,545	△ 15,469	1,027,629	1,026,553
中小企業等貸出比率	59.96	△ 0.65	△ 1.64	60.61	61.60

7. 預金、貸出金の残高 【単体】

(百万円)

	23年3月末		22年9月末	22年3月末	
		22年9月末比			22年3月末比
預金等(未残)(含むNCD)	2,491,862	△ 1,796	22,972	2,493,658	2,468,890
預金等(平残)(含むNCD)	2,508,899	△ 14,034	71,474	2,522,933	2,437,425
貸出金(未残)	1,686,388	△ 9,145	19,956	1,695,533	1,666,432
貸出金(平残)	1,689,356	3,056	25,645	1,686,300	1,663,711

8. 役職員数及び店舗数

(1) 役職員数(期末人員) 【単体】

(人)

	23年3月末		22年9月末	22年3月末	
		22年9月末比			22年3月末比
役員数	16	—	1	16	15
従業員数	1,646	△ 28	23	1,674	1,623

(注)従業員数は、出向者及び嘱託、臨時雇員を含んでおりません。

(2) 店舗数 【単体】

(店)

	23年3月末		22年9月末	22年3月末
		22年9月末比		
国内本支店	103	—	103	103
海外支店	—	—	—	—
駐在員事務所	1	—	1	1

9. 業績等予想

【単体】

(百万円)

	23年3月期 見込額	23年3月期 実績	23年9月期 予想	24年3月期 予想
経常収益	48,600	49,248	23,800	47,400
経常利益	9,100	10,444	3,000	6,100
当期(中間)純利益	5,100	5,649	1,900	4,000
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	11,600	12,704	4,100	8,300
一般貸倒引当金繰入	200	—	0	0
業務純益	11,400	12,704	4,100	8,300
貸出金関係損失(含む一般貸倒引当金繰入)	900	△ 948	500	1,500
貸出金関係損失(除く一般貸倒引当金繰入)	700	△ 646	500	1,500

10. 平成22年度のバルクセール実績と今後の計画 【単体】

売却元本 1,072 百万円 債権売却損 23 百万円
平成23年度についても検討いたします。

11. 平成22年度の債権放棄の金額及び放棄先 【単体】

(百万円)

	23年3月末			22年9月末	22年3月末
	22年9月末比	22年3月末比			
債権放棄先	1件	1件	0件	0件	1件
債権放棄額	42	42	△ 1,739	—	1,781

12. 系列ノンバンク向け融資残高

(百万円)

	23年3月末			22年9月末	22年3月末
	22年9月末比	22年3月末比			
2社合計	8,309	588	△ 218	7,721	8,527

13. 連結子会社、関連ノンバンクの引当不足について

連結子会社、関連ノンバンクに引当不足はございません。

また、当行は連結子会社、関連ノンバンクに対し、金融支援を行っておりません。

14. 自己査定結果について

自己査定結果及び債権分類(率)の状況 【単体】 (速報ベース)

(百万円)

	23年3月末		22年9月末		22年3月末	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
総与信残高	1,713,263	100.00%	1,722,886	100.00%	1,694,201	100.00%
非分類額	1,493,947	87.19%	1,496,079	86.83%	1,457,987	86.05%
分類額合計	219,315	12.80%	226,806	13.16%	236,213	13.94%
Ⅱ分類	213,691	12.47%	221,563	12.86%	230,878	13.62%
Ⅲ分類	5,624	0.32%	5,243	0.30%	5,335	0.31%
Ⅳ分類	—	—	—	—	—	—

(注) 総与信残高・・・貸付有価証券、貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返。

分類額は個別貸倒引当金控除後の残高です。

非分類額・・・Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ分類に該当しない資産で、回収の危険性又は価値の毀損の危険性について問題のない資産。

Ⅱ分類・・・回収について通常の度合を超える危険を含むと認められる資産。

Ⅲ分類・・・最終の回収又は価値について重大な懸念が存し、損失の可能性が高いが、その損失額について合理的な推計が困難な資産。

Ⅳ分類・・・回収不可能又は無価値と判定される資産。

15. 貸出関係

○不良債権・問題債権残高及び不良債権引当額

【単体】

(百万円)

	不良債権・問題債権残高(自己査定)				
	①破綻先・ 実質破綻先	②破綻懸念先	①と②の合計	③要注意先	①～③の合計
22年3月末	17,791	60,791	78,583	281,320	359,903
22年9月末	18,185	60,427	78,612	267,204	345,816
23年3月末	16,512	65,563	82,076	257,229	339,305

(百万円)

	不良債権残高(金融再生法基準)		不良債権引当額	
	④要管理債権	合計	個別貸倒引当金 純繰入額	個別・一般貸倒 引当金純繰入額
22年3月末	4,423	83,206	5,396	3,150
22年9月末	4,129	82,741	△ 403	△ 207
23年3月末	14,614	96,690	△ 726	△ 1,028

(注) 1. 不良債権・問題債権残高は総与信ベースで、非分類債権を含む。

2. 不良債権残高(金融再生法基準)の合計額は、要管理債権と危険債権、破産更生債権及びこれらに準ずる債権の合計額。

○最終処理額(23年3月期) **【単体】**

①売却(ファンドへの債権譲渡含む)	1,072	百万円
②直接償却	42	百万円
③その他(回収、債務者の業況改善など)	9,239	百万円
④合計	10,355	百万円

(注) 不良債権の最終処理額は、不良債権をオフバランス化した元本の額であります。

○新規発生状況(23年3月期) **【単体】**

①正常先からの発生額	2,497	百万円
②要注意先(要管理先を除く)からの発生額	11,577	百万円
③要管理先からの発生額	—	百万円
④合計	14,074	百万円

(注) 新規発生分の不良債権残高は、新たに破綻懸念先(金融再生法基準では危険債権)以下に分類された債権の残高であります。

○平成22年4月～平成23年3月の倒産先の状況 **【単体】**

(百万円)

債務者区分	件数	与信額
正常先	18	182
要注意先	8	596
要管理先	—	—
破綻懸念先	9	1,527
破綻・実質破綻先	3	136
合計	38	2,442

(注) 債務者区分は平成22年3月末時点のものであります。

16. 不良債権について

(1) 処理損失

【単体】

(億円)

	①一般貸倒引当金 純繰入額	②不良債権処理額	総与信費用 ①+②
22年3月期	△ 22	53	31
23年3月期	△ 3	△ 7	△ 10
	期初見込額	40	40
24年3月期予想	0	15	15

*不良債権処理額は個別貸倒引当金純繰入額、貸出金償却など臨時損益段階の合計。

【連結】

(億円)

	①一般貸倒引当金 純繰入額	②不良債権処理額	総与信費用 ①+②
22年3月期	△ 23	53	30
23年3月期	△ 6	△ 4	△ 10
	期初見込額	42	42
24年3月期予想	0	18	18

(2) 最終処理と新規発生

①残高比較

【単体】

(億円)

	22年3月末 ①	新規増加	期中減少		23年3月末 ②	増減②-①
			オフバランス化	債権区分の移動		
破産更生等債権	177	27	32	8	165	△ 12
危険債権	609	140	70	23	655	46
計	787	168	103	31	820	33

②オフバランス化の内訳

【単体】

(億円)

	22年度通期 オフバランス実績	23年度通期 オフバランス計画
清算型処理	—	未定
再建型処理	—	未定
債権流動化	10	未定
	RCC向け売却	未定
直接償却	0	未定
その他	92	90
	回収・返済	50
	業況改善	40
合計	103	90

(3) 金融支援

【単体】

金融支援の該当先はありません。

(4) 債務者区分ごとの引当額と引当率

【単体】

	23年3月末		22年3月末	
	割合	金額	割合	金額
実質破綻先・破綻先債権	無担保部分の100.00%	118 億円	無担保部分の100.00%	115 億円
破綻懸念先債権	無担保部分の82.38%	263 億円	無担保部分の84.21%	284 億円
要管理先債権	債権額の 15.65%	23 億円	債権額の 15.52%	6 億円
その他要注意先債権	債権額の 2.14%	52 億円	債権額の 2.16%	60 億円
正常債権	債権額の 0.21%	21 億円	債権額の 0.32%	33 億円

自己査定における区分	引 当 基 準	
実 質 破 綻 先 破 綻 先	担保・保証で保全されていない部分に対し、100%の個別貸倒引当金を計上。	
破綻懸念先	D C F 先	対象先の将来キャッシュフローの割引現在価値を見積り、当該額を担保・保証で保全されていない部分から控除した金額を、個別貸倒引当金として計上。
	一 般 先	担保・保証で保全されていない部分に対し、貸倒実績率に基づく今後3年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を、個別貸倒引当金として計上。
要管理先	D C F 先	対象先の将来キャッシュフローの割引現在価値を見積り、当該額を対象債権残高から控除した金額を、一般貸倒引当金として計上。
	一 般 先	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後3年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を、一般貸倒引当金として計上。
そ の 他 要 注 意 先	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後1年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を、一般貸倒引当金として計上。	
正 常 先	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後1年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を、一般貸倒引当金として計上。	

D C F 法の対象先の選定基準は以下のとおりであります。

- 破綻懸念先 …担保・保証で保全されていない部分が1億円以上の先。
- 要管理先 …債権額10億円以上の先。

17. 保有株式について

(1) 保有株式

【単体】

(億円)

	取得原価	時価ベース	Tier I
22年3月末	370	467	1,065
22年9月末	375	408	1,096
23年3月末	354	407	1,105

(2) 減損処理基準

【単体】

30%以上50%未満の下落率だった場合の対応

- ①一律で損失計上
- ②いいえの場合→

はい / いいえ

<回復可能性の有無の判断基準>

金融商品会計に関する実務指針に基づき当行が制定した基準に該当するものについては減損処理しております。

当行の地域貢献に関する開示情報(抜粋)

1. 大分県内向け貸出金残高、貸出金比率

(単位:億円)

	23年3月末	22年9月末		22年9月末	22年3月末
		22年9月末比	22年3月末比		
大分県内向け貸出金残高 (A)	12,612	△ 63	△ 27	12,675	12,639
大分県外向け貸出金残高 (B)	4,251	△ 29	226	4,280	4,025
総貸出金残高 (C)	16,863	△ 92	199	16,955	16,664
大分県内向け貸出金比率 (A)/(C)	74.8%	0.0%	△ 1.0%	74.8%	75.8%

2. 大分県内向け業種別貸出金残高、貸出件数

(1) 大分県内向け業種別貸出金残高

(単位:億円)

	23年3月末	22年9月末		22年9月末	22年3月末
		22年9月末比	22年3月末比		
製造業	795	△ 24	△ 42	819	837
建設業	365	9	△ 15	356	380
卸・小売業	1,067	△ 31	△ 49	1,098	1,116
金融・保険業	243	△ 32	△ 3	275	246
不動産業・物品賃貸業	1,043	△ 1	△ 28	1,044	1,071
各種サービス業	1,534	11	31	1,523	1,503
地公体	3,068	34	117	3,034	2,951
個人	3,720	△ 24	△ 10	3,744	3,730
その他	777	△ 5	△ 28	782	805
合計	12,612	△ 63	△ 27	12,675	12,639

(2) 大分県内向け業種別貸出件数

(単位:先)

	23年3月末	22年9月末		22年9月末	22年3月末
		22年9月末比	22年3月末比		
製造業	891	△ 8	△ 22	899	913
建設業	1,678	△ 13	△ 55	1,691	1,733
卸・小売業	1,831	△ 18	△ 46	1,849	1,877
金融・保険業	37	3	△ 2	34	39
不動産業・物品賃貸業	1,405	5	11	1,400	1,394
各種サービス業	2,544	22	4	2,522	2,540
地公体	19	0	0	19	19
個人	102,799	△ 3,242	△ 4,606	106,041	107,405
その他	560	△ 16	△ 18	576	578
合計	111,764	△ 3,267	△ 4,734	115,031	116,498

3. 中小企業等貸出金残高、貸出金比率、貸出件数

(単位:億円、先)

	23年3月末	22年9月末		22年9月末	22年3月末
		22年9月末比	22年3月末比		
中小企業等貸出金残高 (A)	10,110	△ 166	△ 155	10,276	10,265
総貸出金残高 (B)	16,863	△ 92	199	16,955	16,664
中小企業等貸出金比率 (A)/(B)	59.9%	△ 0.7%	△ 1.7%	60.6%	61.6%
貸出件数	116,024	△ 3,449	△ 5,100	119,473	121,124

(注) 1. 貸出金残高には、特別国際金融取引勘定は含まれておりません。

2. 中小企業等とは、資本金が3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業は5千万円)以下の会社又は常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品賃貸業は100人、小売業、飲食業は50人)以下の会社及び個人であります。

4. 大分県内の信保付(大分県信用保証協会保証付)貸出金残高

(単位:億円)

	23年3月末	22年9月末		22年9月末	22年3月末
		22年9月末比	22年3月末比		
当行の大分県内信保付貸出金残高 (A)	985	△ 33	△ 85	1,018	1,070
大分県信用保証協会保証債務残高 (B)	2,136	△ 44	△ 111	2,180	2,247
大分県全体に占める 当行の信保付貸出金の割合 (A)/(B)	46.1%	△ 0.6%	△ 1.5%	46.7%	47.6%

5. 大分県内向け個人貸出金残高(含む住宅ローン)、貸出金比率、貸出件数

(1) 大分県内向け個人貸出金残高、貸出金比率

(単位:億円)

	23年3月末	22年9月末		22年9月末	22年3月末
		22年9月末比	22年3月末比		
無担保ローン残高 (A)	272	△ 8	△ 18	280	290
有担保ローン残高 (B)	3,800	△ 2	20	3,802	3,780
個人ローン残高 (A)+(B)=(C)	4,072	△ 10	2	4,082	4,070
総貸出金残高 (D)	12,612	△ 63	△ 27	12,675	12,639
個人貸出金比率 (C)/(D)	32.3%	0.1%	0.1%	32.2%	32.2%

(2) 大分県内向け個人貸出金件数

(単位:件)

	23年3月末	22年9月末		22年9月末	22年3月末
		22年9月末比	22年3月末比		
無担保ローン件数 (A)	134,544	△ 3,904	△ 9,283	138,448	143,827
有担保ローン件数 (B)	27,921	△ 127	△ 135	28,048	28,056
個人ローン件数 (A)+(B)	162,465	△ 4,031	△ 9,418	166,496	171,883

6. 預金等残高、預り資産残高(公共債、投資信託、保険商品等)

(単位:億円)

	23年3月末		22年9月末 22年3月末比	22年9月末	22年3月末
		22年9月末比			
県内預金等残高	23,708	9	279	23,699	23,429
県外預金等残高	1,210	△ 27	△ 50	1,237	1,260
預金等残高	24,918	△ 18	229	24,936	24,689
投資信託残高	590	△ 2	△ 48	592	638
生保商品残高	1,619	111	247	1,508	1,372
外貨預金残高	107	6	10	101	97
公共債残高	1,684	△ 14	△ 90	1,698	1,774
預り資産残高	4,000	101	119	3,899	3,881